

薬物乱用防止教室を実施しました

11月22日(水)第5校時に薬物乱用防止教室を実施しました。今回は、動画視聴による実施となりましたが、どのクラスも集中して参加できていました。

- 1年生「STOP! 薬物乱用」啓発動画(子供向け)
- 2,3年生「STOP! 薬物乱用 ~断る勇氣~」



「薬物やろうよ!」と誘われたときは?

- ・「私」を主語にする(アイメッセージ)
- ・はっきり・きっぱり断る
- ・早くその場から立ち去る
- ・話題を変える

いやだ



薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ」



生徒の感想

授業後、皆さんにわかったことや感想を書いてもらったところ、ほとんどの生徒が薬物乱用の恐ろしさや、誘われた時の断り方等について良く理解できていると感じました。学年ごとにいくつか紹介しますので、学習内容の振り返りをするとともに、様々な考えを参考にしながら更に学びを深めてもらえたら嬉しいです。

1年生

- 最近、ニュースで大麻グミなどを良く見るので、あまり見たことのないお菓子や食べ物は、安全ということが分かっていなければ触れないようにしたいです。
- 市販薬や病院で処方された薬を間違った方法で使うのも薬物乱用になることがわかった。シンナーという薬物は、接着剤やペンキにも入っているから、使う時は窓を開けた方が良い。薬物は、脳、歯、心臓、骨などをボロボロにしてしまうので、誘われた時ははっきり断ることに、その場から離れることが大切だということが分かりました。
- 大麻や覚醒剤などのドラッグはもちろん使わないし、咳止めなどの医療的な薬品の乱用にも気をつけていきたい。SNSのあやしいサイトなどを見ないようにし、薬物の誘惑にも惑わされないようにしていきたい。
- インターネットでは間違った情報があるから、だまされてはいけない。薬物を1回でも使うと、自分の意思でやめられなくなってしまうことや、治療してもフラッシュバックにより後遺症が一生続くことがわかった。これからも絶対に薬物乱用をしないようにして、周りの人たちがやっていたら注意していきたい。
- 薬物乱用をすると、自分の心や体を傷つけるだけでなく、自分の大切な友だちや家族なども傷つけることになるから、誘われてもしっかり断り、その場から逃げるようにしたい。
- 大麻などの薬物は、使用していなくても持っているだけで警察に捕まってしまうと聞いたことがあります。自分もいつ、どんな時に誰から誘われるか分からないので、誘われてしまったらしっかり断れるようにしたいです。

2年生



- 薬物には沢山の種類があり、「アイス」や「チョコ」、「スノウ」など、聞いただけでは安全そうな名前でも呼ばれていることが分かり、怖いと思いました。1回使用しただけでも脳が壊れてしまって、自分で自分をコントロールできなくなったり、繰り返し使わないと耐えられなくなったりすることを知って、危険だなと思いました。知り合いに勧められたら「はっきりと断ること」と「その場にいたら逃げることを頭に入れて生活していこう」と思いました。
- イベントで大麻グミなどを配っていることがあるので気を付けたいです。知らない人から食べ物ももらわない。きっぱりと断る。その場から離れるなどをしていきたいです。そして、自分の周りの人がやっていたら、正しい方向に導いていけるようになりたいです。
- 「友だちに嫌われたくないから」とか、「どうしたらいいかわからないから」などの理由から手を出してしまうと、周囲の人にも迷惑がかかるから、はっきり断れば良いと分かった。自分は、絶対に断れる自信があるけど、今はグミとかクッキーにも加工されて見た目だけでは判断できないものが出回っているのが怖いと思いました。
- 最近、グミやクッキーなどから知らずに薬物を体に入れてしまう可能性が高まっていて、それらはインターネットからだったり、もらったものだったりすることが多いそうなので注意したい。もし知り合いなどから誘われるようなことがあったら、はっきり断るようにしたい。
- 私ははっきり断るのが苦手だけど、そこから離れるとか、逃げるとかだったらできそうだと思います。自分がした選択で自分の人生を壊してしまわないようにしっかり考えていきたいです。

3年生



- 薬物が危ないのはもちろん知っていたけど、今までは「僕は大丈夫だろう」とか「僕には関係ない」と思っていた。しかし、最近ニュースで取り上げられている「大麻グミ」が出てきて、「もう身近にある」と思ってきた。大麻は、形を変えて僕たちの身近に迫ってきていて、いつ、どこで使っているかわからないので気をつけたい。
- 実際に誘われたらと想像すると、動画で見た女の子のように色々考え込んでしまったり、断るのを戸惑ってしまったりするのだろうかと思った。薬物は危険、絶対に手を出してはいけないと分かっていても、迷ってしまったら一度落ち着いて、大切な人のことや自分の将来のことを考えて「はっきりと断る」「その場から離れる」ことができるようにしたい。
- 仲の良い友だちからの誘いだ気持ち揺らいでしまうかもしれないけど、大切な人の顔を思い浮かべ、その人の気持ちを考えて断れるようにしたい。薬物と知らずに食べてしまう危険もあるので、知らない人からもらったものは口にしないなど、自分を守る対策をしっかりしておくことが大切だと思った。
- 薬物は意外と身近にあるものだと分かった。危険ドラッグは、アロマオイルやバスボムなど、家で使うような物に見せかけることがあると初めて知りました。最近、小中学生でも乱用する人がいるらしいので、友だちから誘われたとしても絶対に断りたいです。今回の薬物乱用防止教室では、今までの知識よりも新しいことが分かったので良かったです。

大切な自分を守るために・・・

- 友だちや先輩から薬物の誘いを受けたら・・・
 - ①「断ったら相手に悪いか」と考えたりして、断りにくいかもしれませんが、自分の心や体を守れるのはあなた自身です。
「おかしいな」と思ったら、迷わず「ハッキリ、キッパリ」断りましょう。
 - ②断りにくい時は、その場から逃げましょう。逃げることも勇気です。
 - 自分を大切にするための3つのポイントを考えてみよう
 - ①うれしかったこと、悲しかったこと()
 - ②自分が好きなもの、やりたいこと()
 - ③自分にとって大切な人、そして自分を大切に思ってくれている人()
- * 全部埋まらなくても大丈夫。まずは考えてみてください。

